がん化学療法レジメン登録申請書

診療科	呼吸器内科	医師名		
PHS		E-MAIL		
がん種	肺小細胞肺癌	•	•	
レジメン名	(AM)CDDP + CPT-11			
臨床試験	終了後			-

根拠となった論文、資料(タイトル、著者名、雑誌名 等)

TIRINOTECAN PLUS CISPLATIN COMPARED WITH ETOPOSIDE PLUS CISPLATIN FOR EXTENSIVE SMALL-CELL LUNG CANCER, Noda K et al , .N Engl J Med 2002; 346 : 85-91.

研究デザイン

Α	1 ラン:	ダム化比較試験	В	2	Prospective		С	1 1st Line
	臨床試験名		進展	進展型小細胞肺癌に対するCPT-11/CDDP療法とVP-16/CDDP療法の有用性の比較検討				
	臨床試験グループ			JCOG (日本臨床がん研究グループ)				
	研究対象	となる症例	胨	小細胞癌				
	研究対象となる治療方法			CDDP 60mg/m2 day 1 + CPT-11 60mg/m2 day1, 8, 15 q4				
- 1	プライマリーエンドポイント			生存期間				
t	セカンダリーエンドポイント			奏効率、PFS、副作用				
	CPT-11/CDDP療法は、VP-16/CDDP療法に比べ、生存期間を優位に延長(MST128ヶ月VS 9・ 結果 月)、奏効率、PFSについても優位に良好であった。重篤な血液毒性はVP-16/CDDPに多く、下痢は CPT-11/CDDPに多かった。							
結論 CPT11/CDDP療法は、ED - SCLSに対する新たな標準治療と考えられる。				えられる。				

推奨度

エビデンスレベル Ⅱ	勧告のグレード	В	グレード	標準
------------	---------	---	------	----

保険適応の無い薬剤

薬剤	備考

投与スケジュール

投与期間(①)	3⊟	休薬期間(②)	25⊟		
1コースの期間(①+②)	28日				
投与回数コース	4 - 6コース				

DAY <u>1 8 # (日)</u>

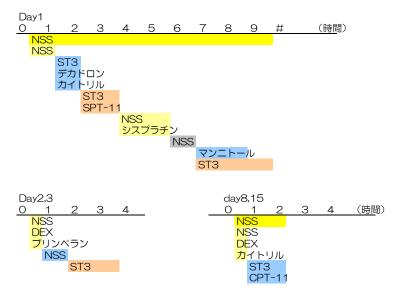
CPT-11 **1** 60mg/m²

CDDP 60mg/m²

処方内容

Rp	薬剤	投与量	投与方法	投与時間(投与速度)	投与日
0	NSS	100ml	div	本体	1
1	NSS	500ml	div	1hr	1
2	ST3	500ml			1
	DEX	16mg			1
	カイトリル	3mg	div	1hr	1
3	ST3	500ml			1
	トポテシン	60mg/m2	div	90分	1
4	NSS	400ml			1
	ランダ	60mg/m2	div	2hr	1
5	NSS	500ml	div	1hr	1
6	マンニトール	300ml	div	2hr、側管より	1
7	ST3	500ml×3	div	1hr×3	1
1	NSS	100ml			2, 3
	DEX	8mg			2, 3
	プリンペラン	2A	div	0.5hr	2, 3
2	NSS	500ml	div	1hr	2, 3
3	ST3	500ml×2	div	1hr×2	2, 3
0	NSS	100ml	div	本体	8, 15
1	NSS	100ml	div	0.5hr	8, 15
	DEX	8mg			8, 15
	カイトリル	3mg			8, 15
2	ST3	500ml	div	90分	8, 15
	トポテシン	60mg/m2			8, 15

投与スケジュール図



副作用情報(頻度、対処法)

申請書受理

2008.7.17 堀

審査結果

項目		頻度(G3以上)	対処方法(減量・中止含む)	
	好中球減少	65%	G-CSF, 減量または中止(状況による)	
血液	血小板減少	5%	血小板輸血、減量または中止	
毒性	白血球減少	27%	抗生剤、G-CSFの使用、減量または中止	
	貧血	27%	輸血	
	悪心・嘔吐	13%	吐き気止めの使用、減量または中止	
消化器	下痢	16%	止痢剤の使用、補液、整腸剤の使用、減量または中止	
症状				

根拠となる論文あるいは資料以外に参考にした文献・資料				
備考				

小グループ審査

1/23重野、須田承認

	病院端末	薬剤部門	システム	
登録	確認		登録	確認

審查委員会